福井大震災画報

（写真・水害・所）

1948・夏・福井市情報部編

年

午後5時14分

貌惨のルビ和大前驛（下）

上屋同たれさ壊破（上）

大和ビル裏の出火（直後三十分・橋南より）

震災

昭和23
6月28日

被害概況

全壊家屋	11.024戸	（12.425世帯）
半壊家屋	4151戸	（ 4418世帯）
略完全なるもの	902戸	（ 1.060世帯）
死者	865人	
負傷者	約 7.000人	

（備考）震災前（昭和23年6月10日現在）
福井市の

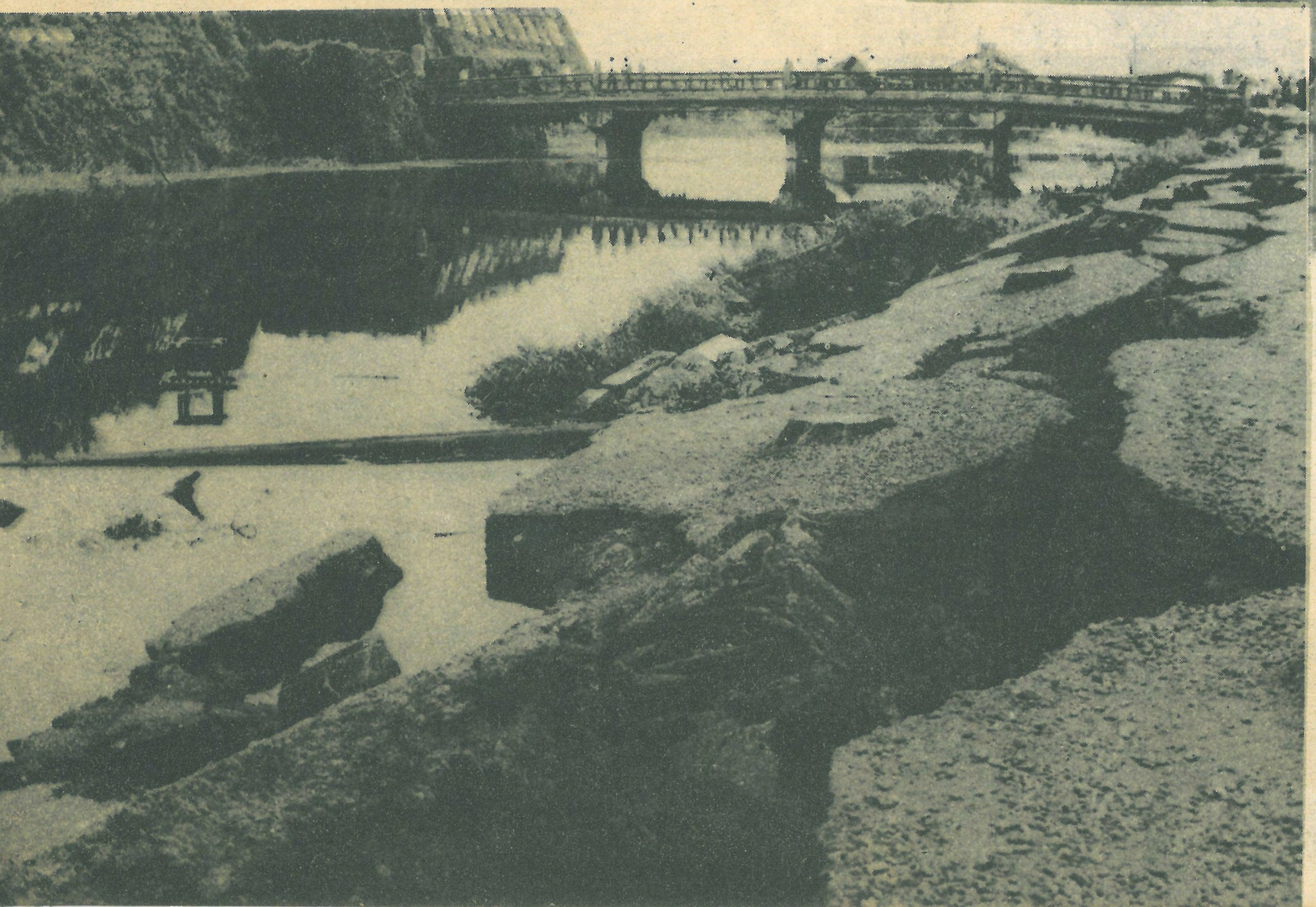
人口	85.538
戸数	17.805
世帯	19.772

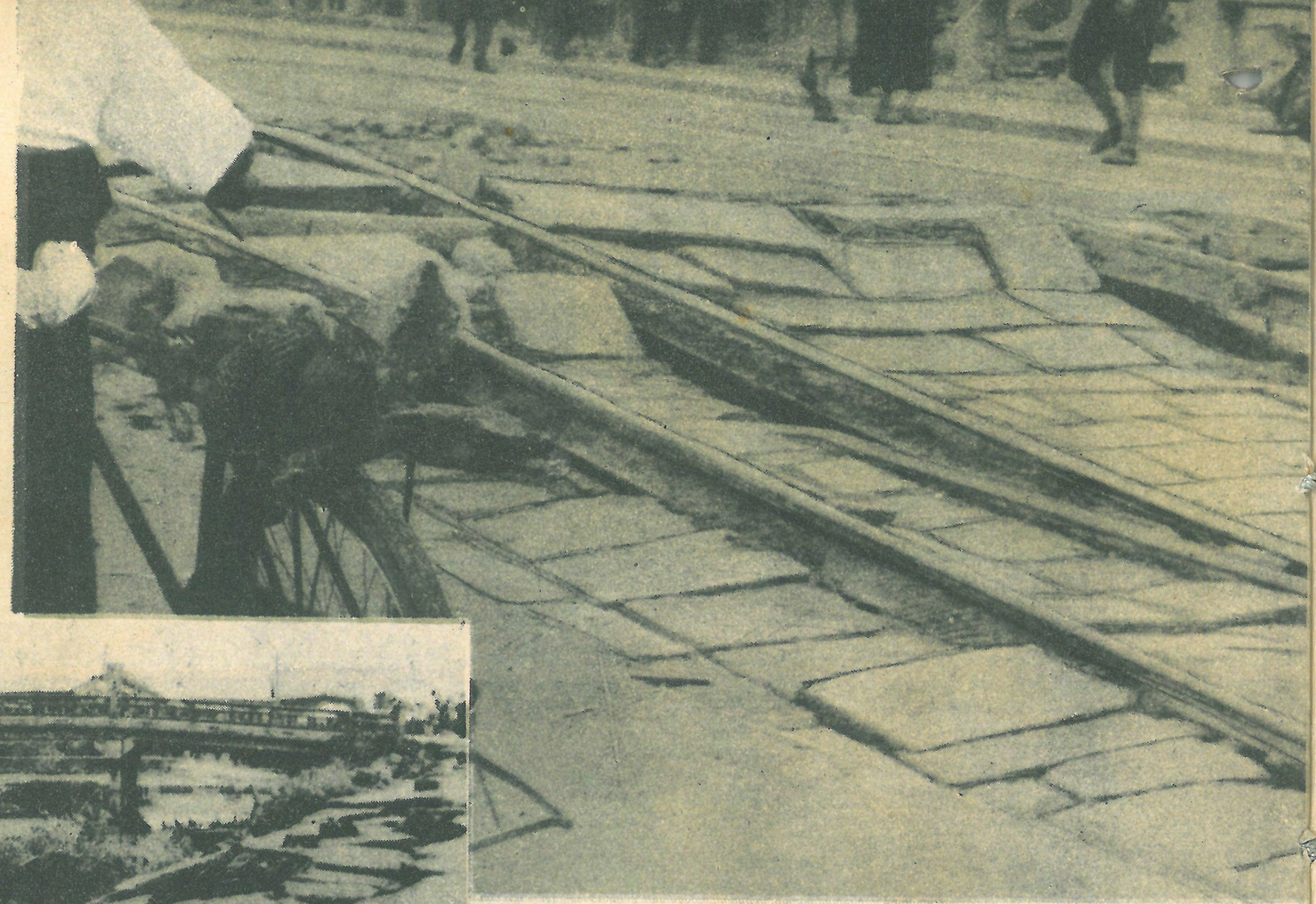
（上）市北部地區の路面龜裂

（下）足羽堤防の大地割れ

（上）むくれ上つた市内の電車軌道（幸橋）

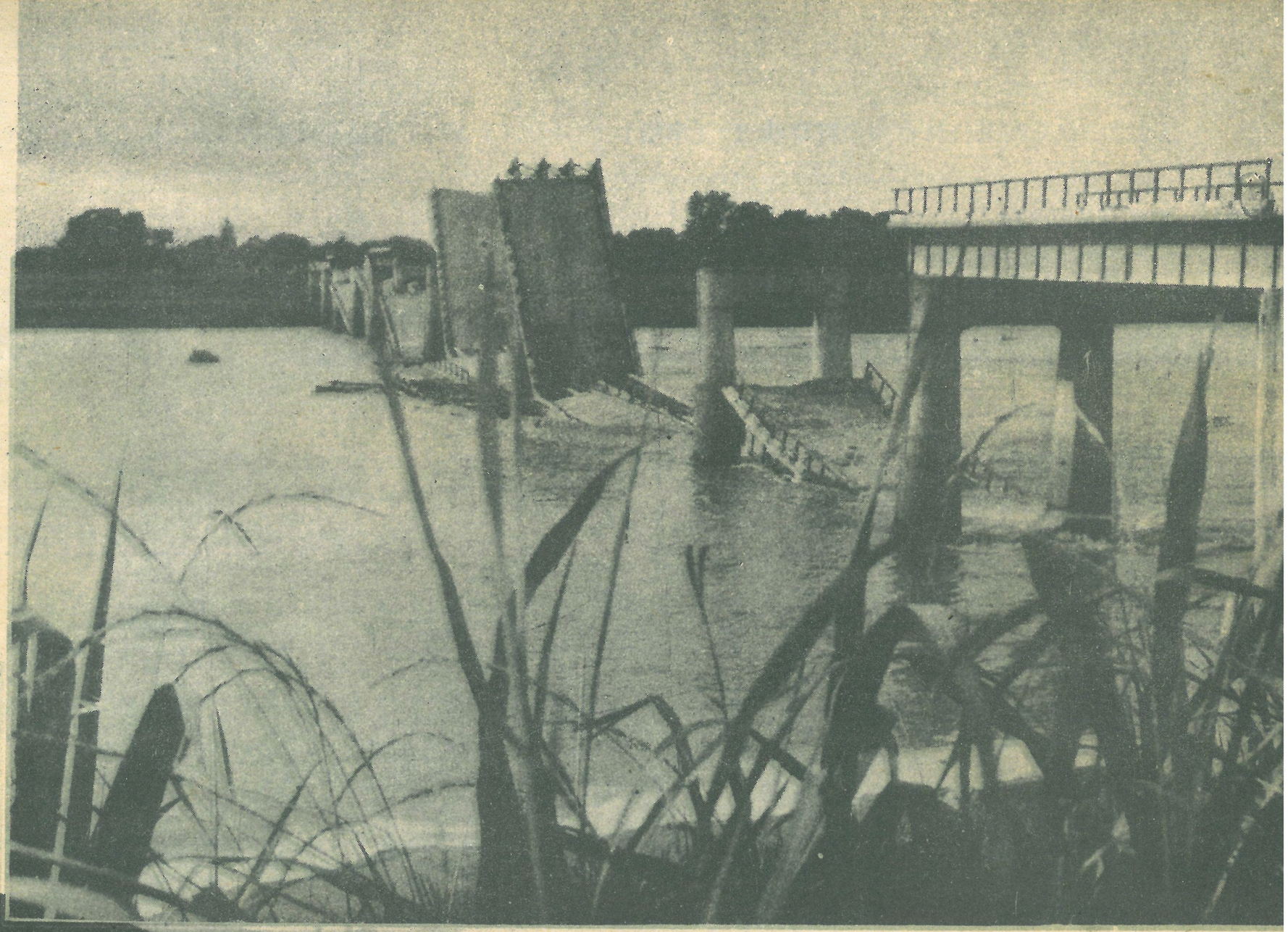
（下）縣廳前の大龜裂

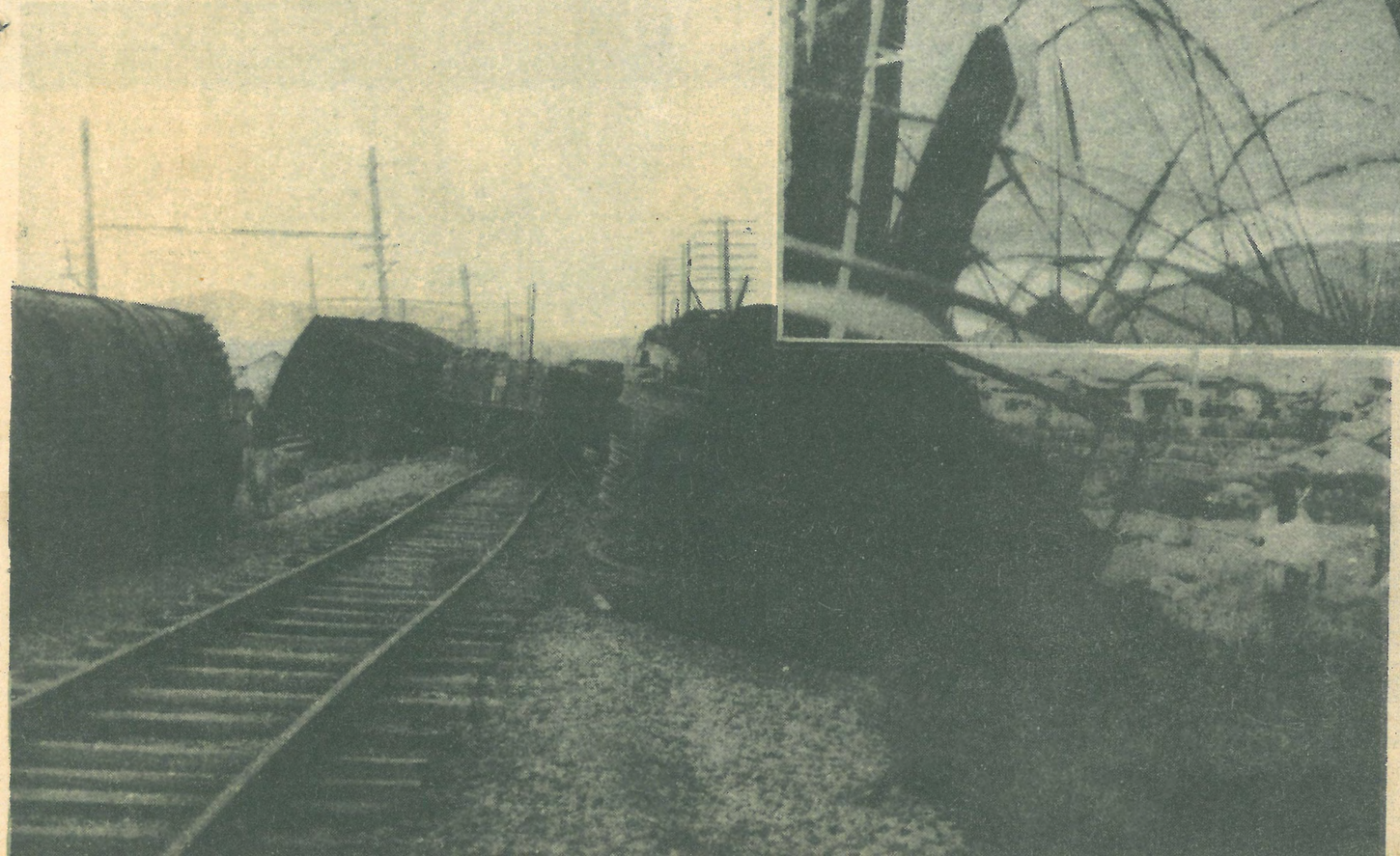




慄然たるこの大龜裂

交通杜絶

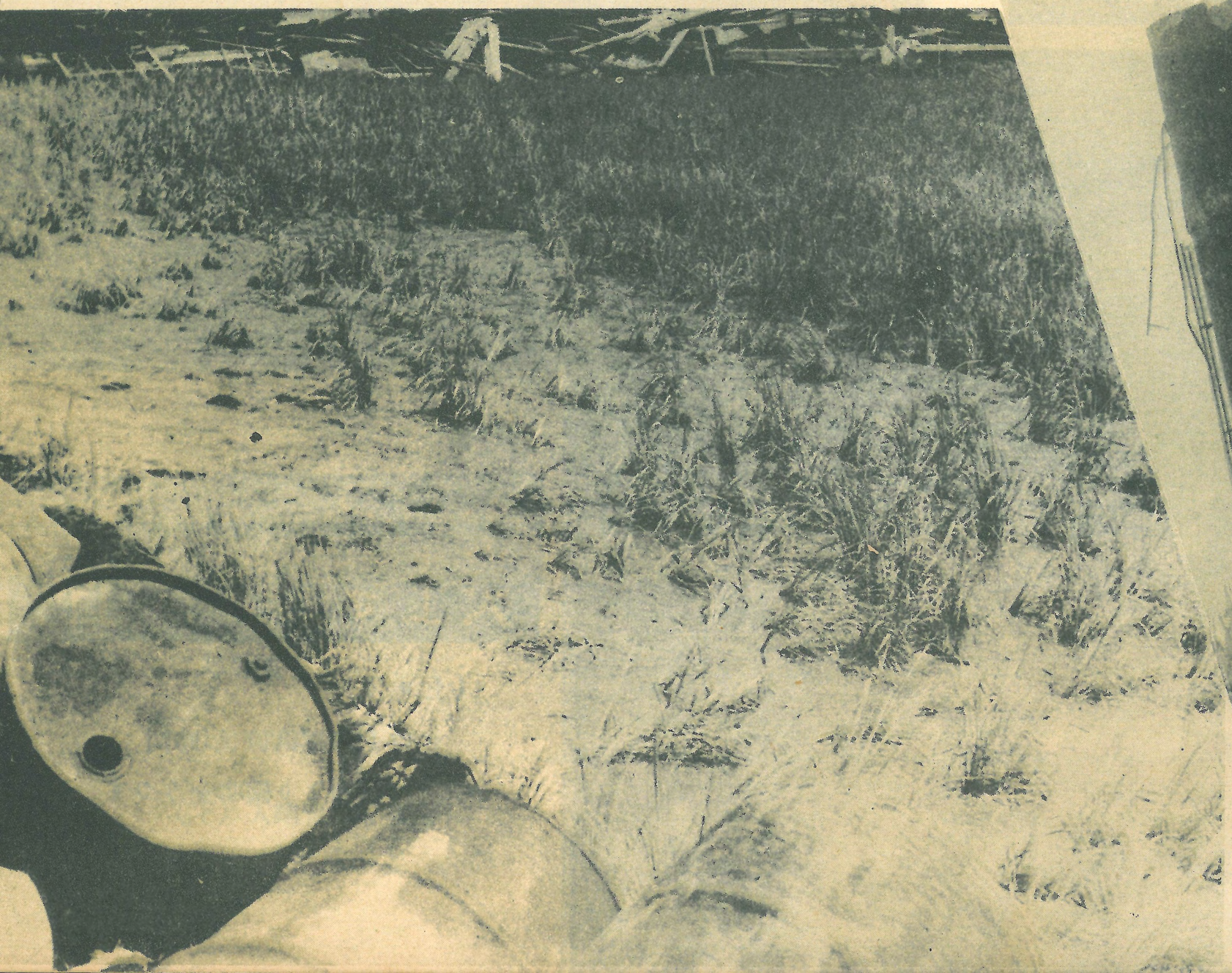




（上）無惨に墜ちた中角橋

（下）列車も顚覆（下り555列車）

大甚も害被の稲水（下）



（上）煙突の奇蹟（途中から折れた大煙突が附近の畑の中に逆さにつきささつている）

び焦土瓦礫の野と化す

1,728戸(1,859世帯)

炎上する市街地

(上・下)

いづれも直後1時間

橋南より橋北をうつす

火災

市の中心街再

燒失家屋

灰燼に帰した中心街

馬場通りより

（上）片町方面を望む

（下）人絹會舘を望む

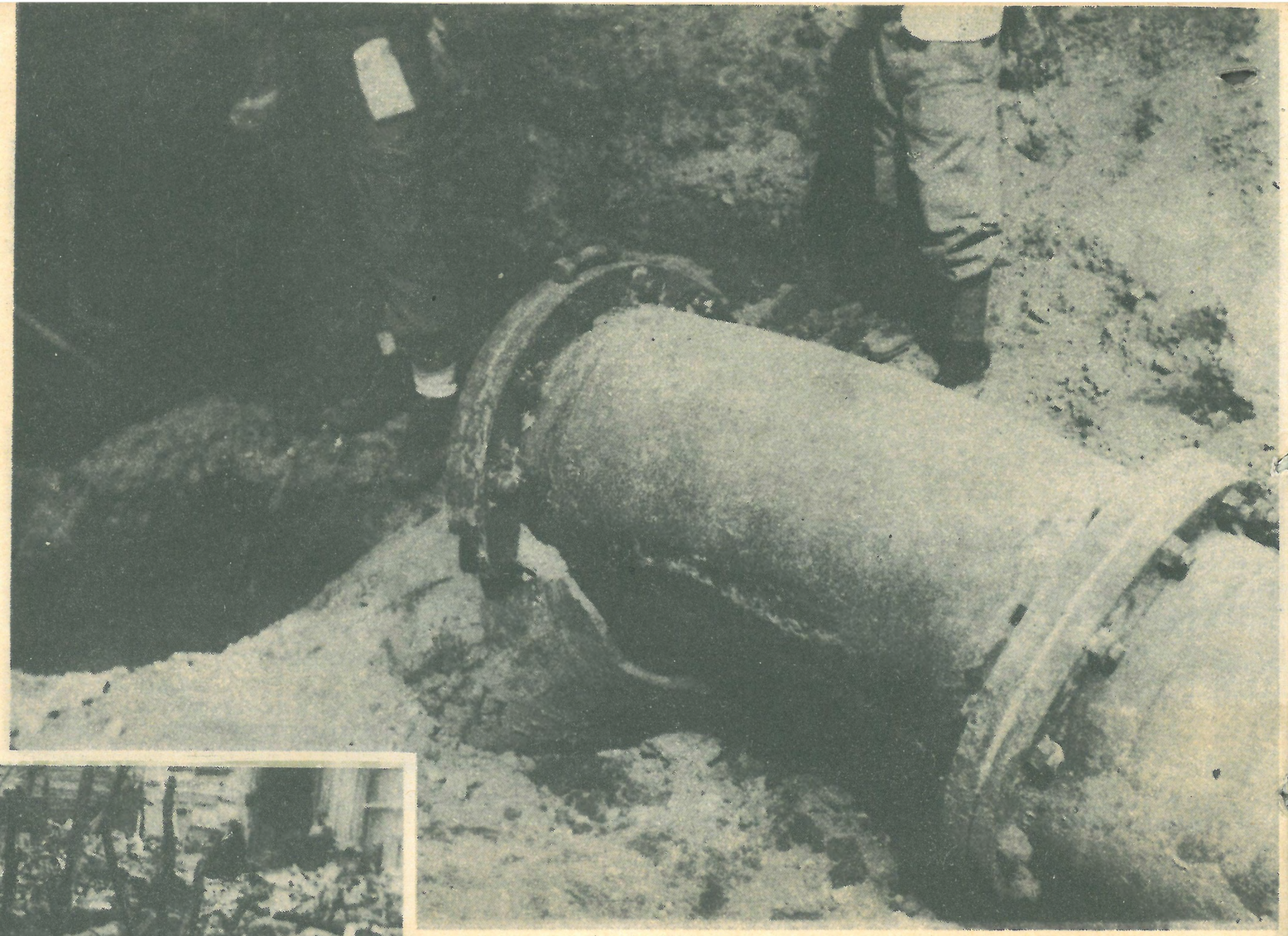
焼跡に泪あり

（上）バラックに雨露をしのぐ

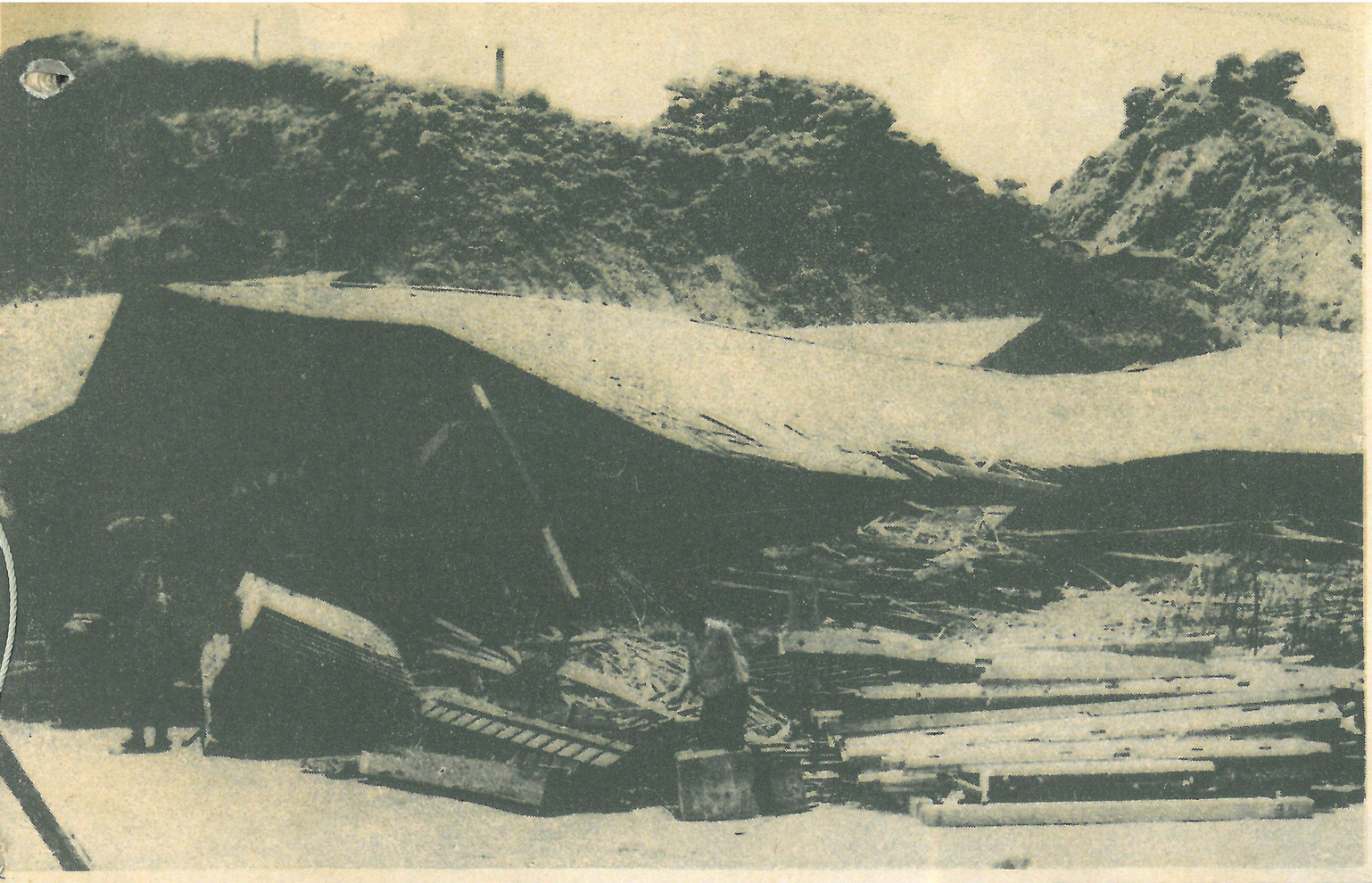
（下）焼跡の遺骨に心づくしの供物
（東寶劇場跡にて）

（上）破壊された水道鐵管

（下）護岸が崩壊した下水路



施設盡く潰滅



（上）第三社會厚生園（明里莊）

（下）啓蒙小學校校舍

市の施設

（上）市営アパート・泉荘

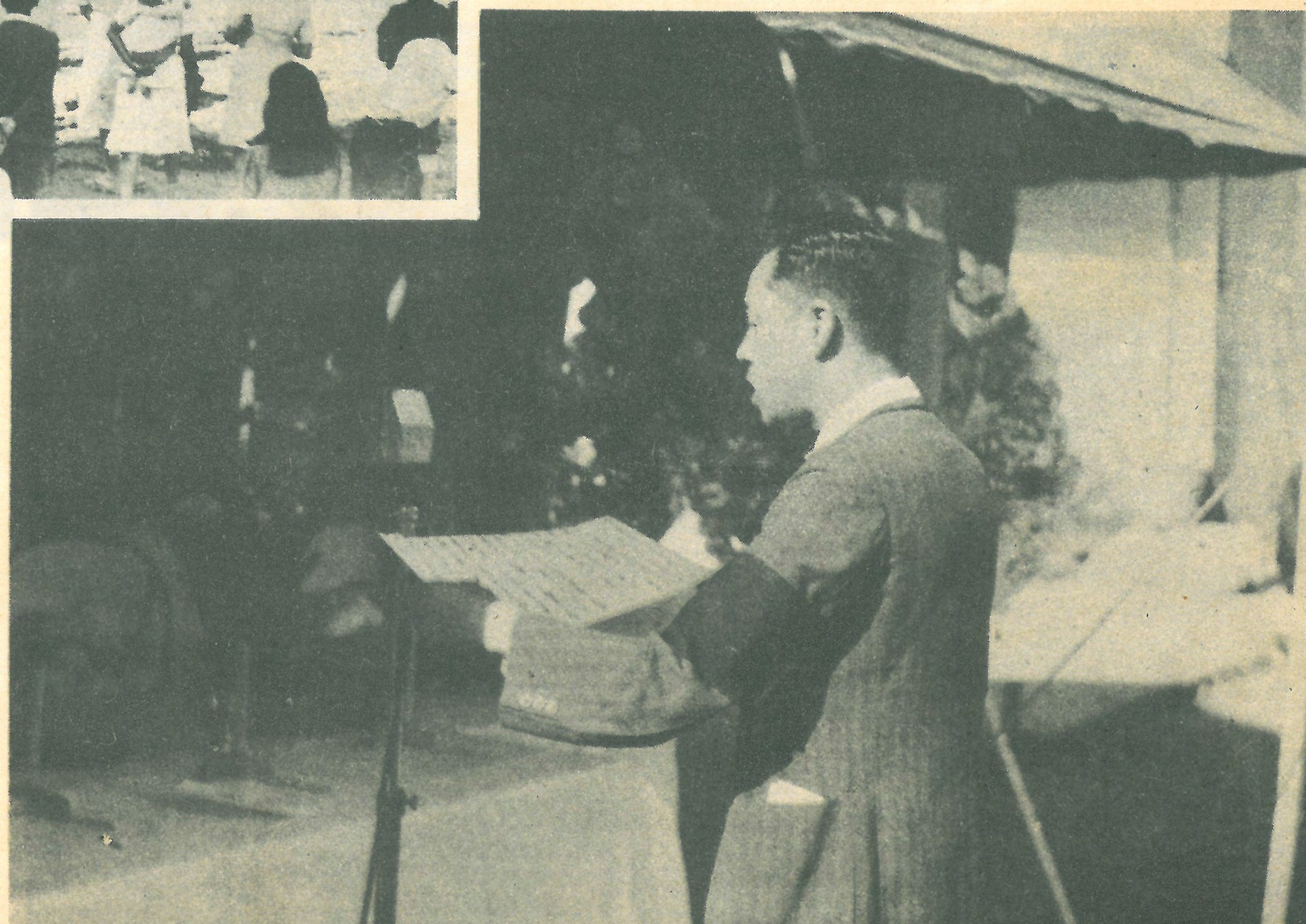
（下）分譲住宅（老松上町）

破壊された

合同慰霊祭

昭和23年7月22日午後5時

（上）市公會堂前の祭場



（下）祭文を讀む熊谷市長

（上左）　救援に連日活動の福井軍政官ハイランド中佐

（上右）　市情報部提供の速報に見入る市民

（下）　救援作業に活躍する市會議員

両陛下の御名代にて

三笠宮 御慰問に 御来市

昭和23年7月5日

（上） 市廳舎屋上から市街を御展望

（下） 市内を御巡視 （大和ビル前にて）

（上）　余燼の中に早くもバラック建設へ
（直後三日目・驛前にて）

（下）　復舊を急ぐ九頭龍川仮鐵橋
（橋鐵舊がおちているのが中河に）

かくてふたたび 建設へ

ち上った福井市民
計画も着々進捗

（上）震災直後三日目の市街

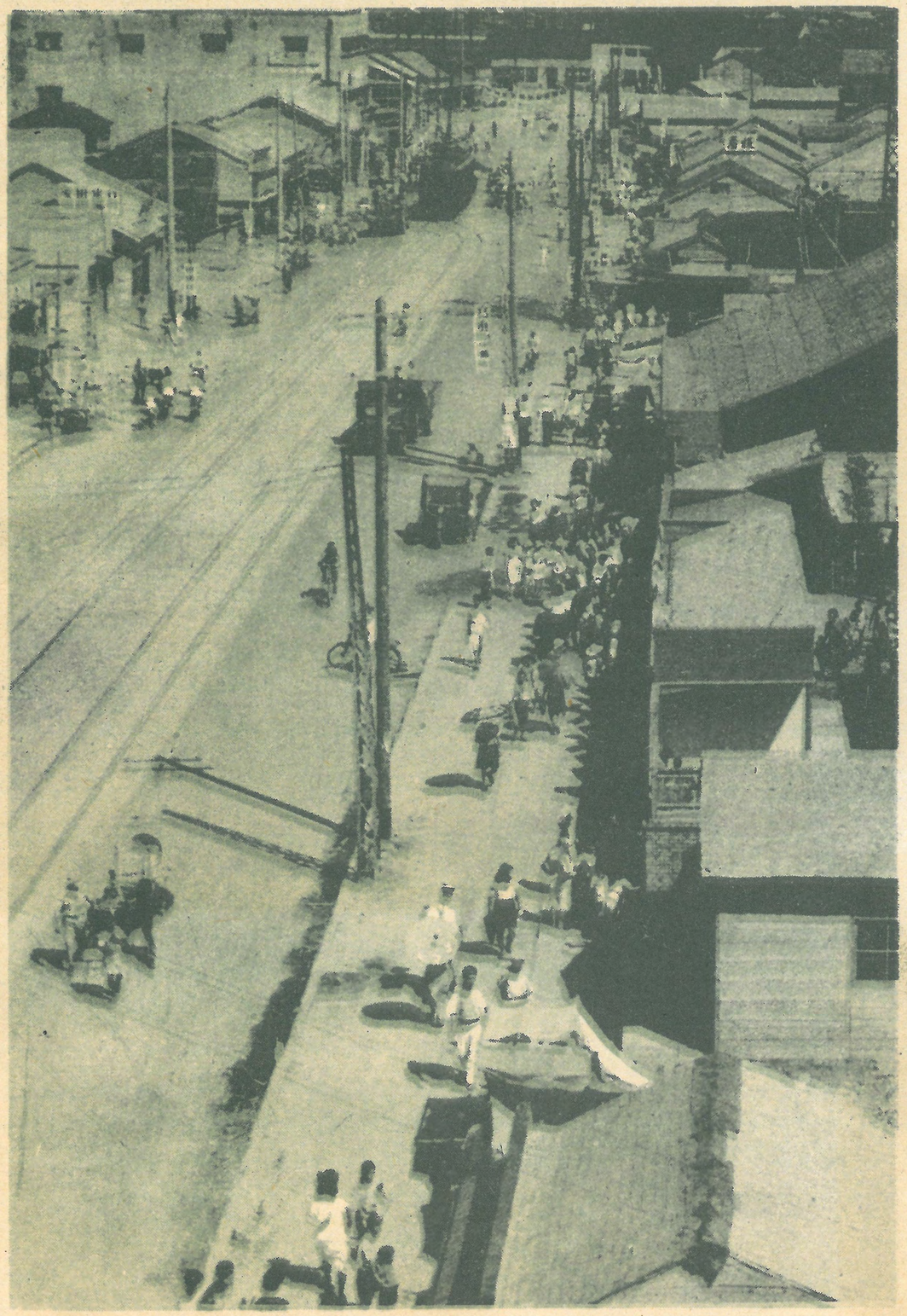
（下）震災一ケ月後の市街

いづれも軍政部屋上より大名町方面を望む

復興へ！再建へ！

震災一ヶ月後，早くも起

都市

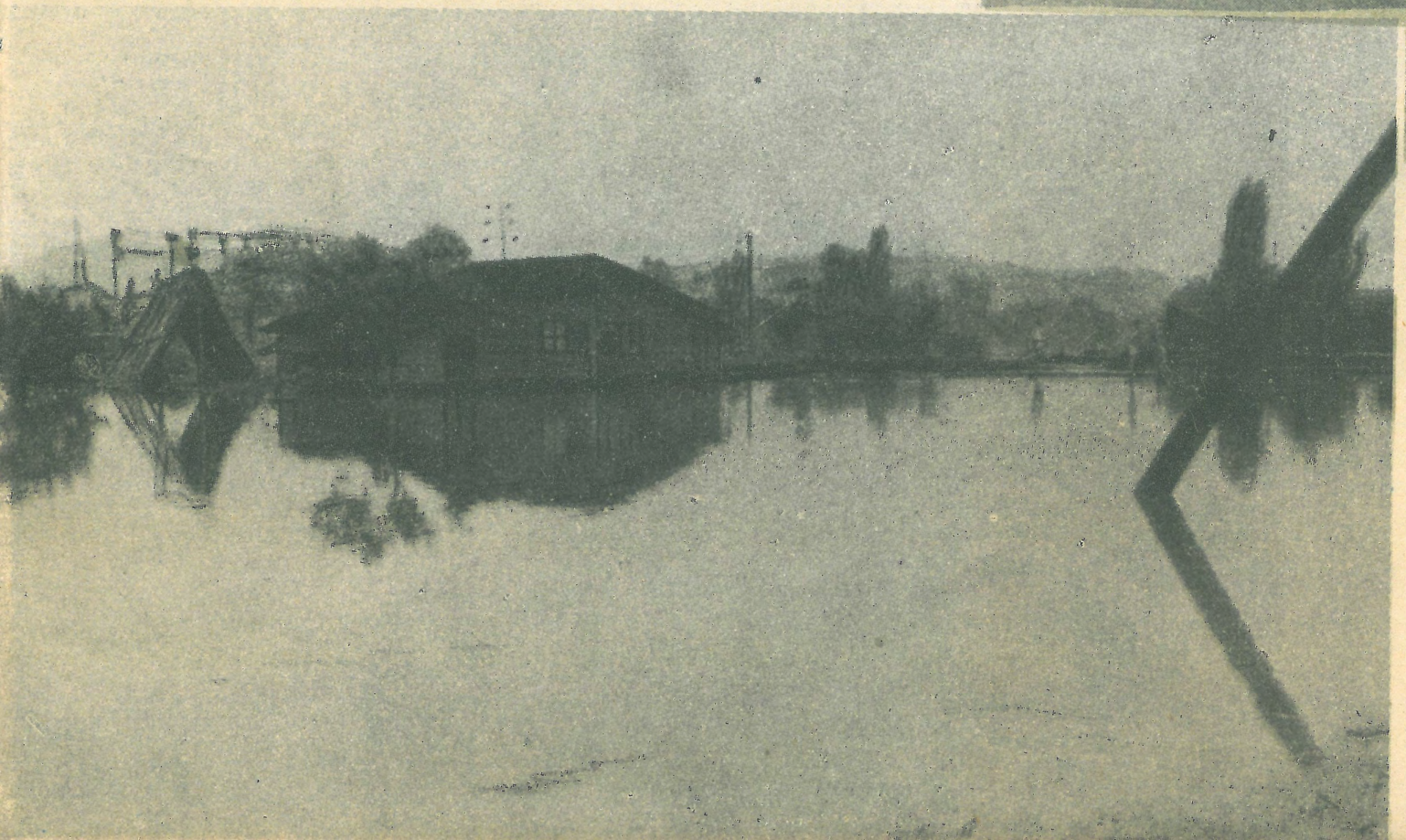


（上）　早くも賑いをとり戻した福井驛前

（下）　都市計畫に基き大通りとなつた本町の一部

水郷と化す

より殆ど市の全域に浸水を見る



（上）田原町方面の浸水

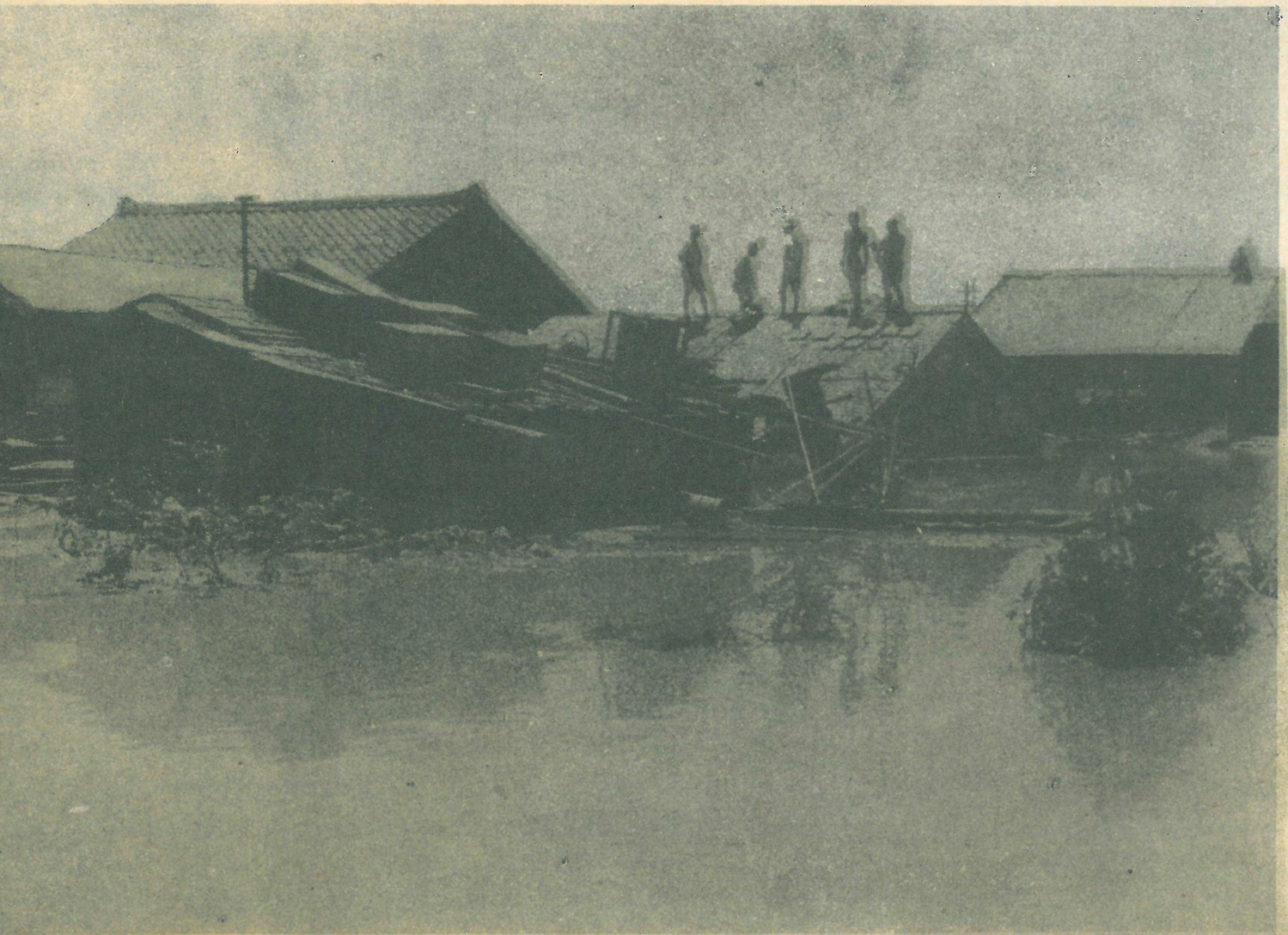
（下）四ツ居本町方面の浸水

水害

昭和23年7月25日午後5時

九頭龍川堤防遂に決潰し，市の西北部一望

更に荒川の氾濫，市内下水路閉塞による雨水の氾濫に



乾新町方面の浸水

被害概況

流失家屋	86戸
倒壊家屋	43戸
半壊家屋	26戸
家財流失世帯	3,100戸
床上浸水	3,003戸
床下浸水	6,203戸
負傷者	約50人
罹災人口	27,937人

（上）　市中をいかだで連絡　（春山方面にて）

（下）　本　町　方　面　の　浸　水

なすすべを知らず

（上）　救援舟出動　（春山交番附近にて）

（下）　軌道をうめて川と化す　（西福井驛前ホーム）

刻々と増す水に

（上）浪花上町方面の罹災民

（下）家財道具も水びたし

この三重苦の中に

復興新記錄

（上）　屋根に避難して一夜を明す罹災民（田原町方面にて）

（下）　流れついた木材の山（福井工専前にて）

震災　火災そして水害

もう一度示せ

寫眞は再び焦土と化した福井市中心街（市廳舍屋上より）

昭和二十三年八月三十一日　福井市役所發行（福井市情報部編輯）　頒價金百圓